

九大アジア叢書 8

国際保健政策からみた中国

政策実施の現場から

大谷順子著 (九州大学大学院 言語文化研究院 准教授)
新書判・236頁・1,260円(税込) ISBN 978-4-87378-942-2

目覚ましい経済発展や2008年に控えたオリンピック開催で世界の注目を受ける一方、SARSや鳥インフルエンザの流行でも関心を集める中国。国際機関職員として政策の実施に取り組んだ著者が、人口、感染症や生活習慣病対策、医療制度など、国際保健分野からみた中国を描く。従来の経済、国際関係、文化、歴史といった視点からだけではない、新たな中国の一面を提示する。



[主要目次]

第I部 概観

- 第1章 広大な中国
- 第2章 中国の人口

第II部 保健医療の現状と政策

- 第3章 中国の感染症
- 第4章 中国の生活習慣病
- 第5章 精神保健
- 第6章 中国で死因の高位をしめる傷害
- 第7章 中国の環境汚染と健康への影響

第III部 保健医療制度と国際化社会

- 第8章 中国の保健医療システム
- 第9章 広大な中国と保健医療政策に携わる国連機関

注文書	九州大学出版会	〒812-0053 福岡市東区箱崎 7-1-146 TEL: 092-641-0515 FAX: 092-641-0172 E-mail: salesdep@mocha.ocn.ne.jp	
書名	国際保健政策からみた中国	ISBN 978-4-87378-942-2	定価(税5%込) 1,260円(〒380円)
			部数 冊
御住所(〒)	書店様記入欄		
御芳名			
お支払いは 私費 公費 (請求書 通, 見積書 通, 納品書 通)			

* 送料は冊数にかかわらず、一律380円です。お申込はFAXでも承ります。
* 書店でお申し込みの場合、送料は無料です(書店でのお受け取りになります)。

国際保健政策から みた中国 政策実施の現場から

(財)九州大学出版会
大谷順子 著
定価1,200円＋税



日本企業の進出件数が4,000社以上といわれる中国は、高度経済成長を続けており、この10年間でエネルギー消費は1.7倍、石油消費は2倍に増加している。こうした事情を背景に、同国にとって最重要課題の一つが石油資源の確保であり、その積極的な資源確保戦略は世界に大きな影響をもたらしている。

こうした資源確保行動のみならず、2008年に控えたオリンピックの開催、さらにはSARSや鳥インフルエンザの流行でも近年非常に関心を集める中国。本書はこの国で

10年間に渡って世界銀行と世界保健機関(WHO)に勤務し保健開発政策の実施に奮闘した日本人が、自身の活動を通じて見えてきた同国の実態、そして国際保健協力という仕事についてとりまとめたものである。

第1章では、広大な中国にある、省と省、あるいは省内の都市部と農村部など、さまざまなレベルの国内経済格差や人間開発指数(HDI)の格差の実態が描かれる。こうした格差は、それぞれの地域に暮らす人びとの健康にも格差を生み、その実態は保健医療の指標にも現れているという。さらに、

1992年以降の改革開放政策によって人びとは国内を自由に移動できるようになり、国内出稼ぎ労働者が急増している。

続く第2章では、こうした流動人口がいまや看過できない規模となったことで、感染症の拡大など人びとの健康に対して悪影響が出るようになっただけでなく、医療福祉制度や公衆衛生政策など、現代中国の社会自身が課題に直面し対応を迫られているという実態が描写される。さらに、一人っ子政策という名で知られる計画生育政策により男女比が不自然な数字になっているとの指摘や、戸籍に入っておらず統計上存在しない「黒孩子」と呼ばれる子どもたちが教育や医療などの社会サービスへアクセスできないため、本人たちの人権のみならず公衆衛生的にも感染症予防活動の失敗の原因になっているとの指摘は、同国ならではの独特な問題提起であり、非常に興味深い。

第3章から第7章は、この国における結核やHIV、SARSなどの感染症、生活習慣病、精神保健、傷害などの国際保健課題の実態が、著者の経験を交えながら具体的に語られる。それを踏まえ、第8章では対策を行う骨組みとなるべき国家の保健医療システムについて、さらに第9章では国際機関や近隣諸国と同国の関係が描かれ、将来に向けた優先課題が提唱される。

国際保健協力の仕事に就きたい人にとっても、中国という国をもっと知りたい人にとっても、現場の話が満載の読みやすい一冊だ。



国際協力の現場から 開発にたずさわる若き専門家たち

山本一巳・山形辰史編
岩波ジュニア新書
定価780円＋税

本書では、アジア経済研究所開発スクールを卒業後、JICAやJBIC、国際機関のJPOとして活躍している卒業生たちが、苦労や醍醐味、支援への提言について各自のフィールドを事例に熱く語る。貧困や紛争、感染症など社会の構造をなんとか変えようと努力する若い専門家たちの姿を通じて国際開発の課題を理解できると同時に、自分なりの協力についても考える一助となる。



ASEAN 物流ネットワーク・ マップ

ジェトロ(日本貿易振興機構)編
定価9,000円＋税

日本とアセアンの経済連携協定(EPA)締結が目前に迫るなか、日本企業が域内の活動を活性化するうえで効率的な物流体制の構築は不可欠だ。本書では7つの輸送ルートを実際に走行し、コストや時間の実証調査を行い、実務的な観点から課題を抽出した。企業が事業計画を策定する際にも参考になろう。ただし、同地域は変化が顕著なので、随時情報更新が期待される。



開発人類学 基本と実践

リオール・ノラン著
関根久雄・玉置幸明・
鈴木紀・角田宇子訳
古今書院
定価3,800円＋税

人類学者が海外で援助関係者と出会う機会が増え開発への関与が増す一方、援助実施側も「草の根」や「住民参加」などプロセスや持続性に根ざすパラダイムに移行し、両者の接点が増えている。人類学の貢献に関心をもつ人のための実践的入門書である本書は、開発業界に地域洞察の重要性を訴えると同時に、人類学者にも独善に陥ることなく広い視野の専門職をめざせと促す。